

-NEWS RELEASE-

高知工科大学次期学長候補者の選考について

本学現学長、磯部 雅彦が2019年3月末に任期満了を迎えるに伴い、学長選考会議(議長:青木 章泰)において次期学長候補者の選考を行った結果、現学長である磯部 雅彦が、次期学長候補者として選考されましたのでお知らせします。

なお、公表にあたっては、学長選考会議による理事長並びに経営審議会及び教育研究審議会への報告を経て、理事長による高知県知事への報告が完了したことから、本日1月28日の発表となりました。

【次期学長候補者】

氏名: 磯部 雅彦 (いそべ まさひこ)

生年月日: 1952年9月23日生(66歳)

専門分野: 海岸工学

学歴:

1975年3月 東京大学 工学部 土木工学科 卒業

1977年3月 東京大学 大学院工学系研究科
土木工学専門課程(修士)修了

1981年9月 工学博士(東京大学)

職歴:

1978年4月 東京大学 工学部 土木工学科 助手

1983年4月 横浜国立大学 工学部 土木工学科 助教授

1987年1月 東京大学 工学部 土木工学科 助教授

1992年1月 東京大学 工学部 土木工学科 教授

2005年4月 東京大学 大学院新領域創成科学研究科長

2009年4月 東京大学 副学長

2013年4月 高知工科大学 副学長

2013年5月 東京大学 名誉教授

2015年4月 高知工科大学 学長(現在に至る)



(業績等)

別紙参照

【磯部雅彦コメント】

理系・文系を含む4学群に成長した高知工科大学のさらなる進化に全力を尽くします。工学や情報、経済・マネジメントなどの専門分野で生み出し続ける世界最先端の研究成果を土台として、本学で学ぶ学生が、しっかりとした基礎と応用力を身に付けて、変化する社会の中でも活躍し続けることのできる人材となることを目指します。また、本学の専門性を活かして、積極的に地域社会に貢献していきます。

本学の柔軟性、機動性、効果性を大切にしながら、知を創出し、発信し、普及する活動を通じ、学生・市民、教員・研究者、職員など、多くの人が集まる大学にしたいと思っています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

高知工科大学 企画広報部 長山・谷相

TEL.0887-53-1080 E-mail : kouhou@ml.kochi-tech.ac.jp

次期学長の任期及び任命：

2019年4月1日～2023年3月31日（4年間）

学長の任命は、学長選考会議の選考に基づき理事長が行う。（地方独立行政法人法第71条第5項 及び高知県公立大学法人定款第11条第3項 参考）

選考理由：

2013年に副学長に就任、2015年に学長に就任し、学士・修士の6年一貫教育推進、国内外の大学との連携推進、経済・マネジメント学群の設置及び定員増、フューチャー・デザイン研究所の開所等、高知工科大学の発展に多大な貢献を行った。取組姿勢は公正であり高潔、また、高知港における地震津波防護対策「三重防護」への取組みなど、十分な教育・研究業績を活かし多方面で活躍している。

今後、本学の強みや特色を活かし、理念などを継承し、高知工科大学の更なる進化を目指すうえで、学長として最も適任であると委員全員の意見が一致し、学長候補者として推薦することとなった。

【学長選考会議】

選考経過：

学長選考会議 第1回委員会（2018年10月22日）にて、次期学長の任期（4年間）及び学長選考方法（委員の推薦に基づく選考）を決定し、磯部 雅彦 現学長が次期学長候補者として委員より推薦された。

第2回委員会（2019年1月28日）にて、磯部 雅彦 学長によるプレゼンテーションと質疑応答を実施した結果、委員全員一致で磯部 雅彦 現学長を次期学長候補者として決定した。

学長選考会議について

■学長選考会議とは

地方独立行政法人法第71条第3項 及び 高知県公立大学法人定款第11条第2項に基づき設置される選考機関

■学長選考会議 委員

経営審議会を構成する者の中から選出する3名と、教育研究審議会を構成する者の中から選出する3名の計6名により構成

	氏名	備考
経営審議会委員	青木 章泰	高知商工会議所 会頭
	山本 邦義	株式会社高知放送 相談役
	十河 清	高知空港ビル株式会社 代表取締役社長
教育研究審議会委員	清水 明宏	高知工科大学副学長／教授
	那須 清吾	高知工科大学学長特別補佐／教授
	岩田 誠	高知工科大学学長特別補佐／教授

【研究業績】

発表論文数

	単著	共著筆頭	その他の共著	計
論文(査読有)	24(10)	27(6)	260(64)	311(80)
論文(査読無)	25(5)	20(5)	126(36)	171(46)
著書	1	10(1)	19(5)	30(6)

()内は英文論文数, 単著1は翻訳

書籍

- 海岸波動(編著、土木学会、1994)
- 海岸の環境創造(編著、朝倉書店、1994)
- 新領域土木工学ハンドブック(編、朝倉書店、2003)
- 江戸前の魚 喰いねえ(編、東京新聞出版、2010)

外部研究資金

- 2002年度～2006年度 科学研究費補助金 基盤(S) (総経費 93,410千円)
微細気泡を用いた内湾貧酸素水の改善とその効果の長期的予測に関する研究
- 2007年度～2009年度 科学研究費補助金 基盤(A) (総経費 39,910千円)
3次元モニタリング手法に基づく内湾流域栄養塩循環の動的制御手法の開発
- 2010年度～2012年度 科学研究費補助金 基盤(A) (総経費 37,700千円)
内湾流域物質循環の3次元リアルタイムモニタリング網の構築と運用

受賞

- 1997年 5月 土木学会論文賞
- 2005年11月 土木学会海岸工学委員会CEJ Award
- 2015年 1月 平成26年度(第48回) 国土交通省交通文化賞

【学外活動】

主な学会等活動

- 2011年 6月～2015年6月 日本沿岸域学会 会長
- 2014年 6月～2015年6月 土木学会 会長
- 2014年10月～現在 日本学術会議会員

主な他大学・官公庁等の委員会活動

(大学関係)

- 2013年～現在 高知大学 海洋コア総合研究センター協議会 委員
- 2015年～現在 東京海洋大学 教員配置戦略会議 委員

(国・省庁関係)

- 1998年10月～1999年3月 海岸4省庁 海岸管理検討委員会委員
- 2001年 3月～2003年2月 農林水産省 有明海ノリ不作等対策関係調査検討委員会委員
- 2002年 3月～2002年10月 国土交通省 羽田空港再拡張事業工法評価選定会議委員
- 2004年 7月～現在 国土交通省 社会資本整備審議会・交通政策審議会 計画部会 委員
- 2007年 1月～現在 環境省 中央環境審議会 自然環境部会 臨時委員
- 2007年10月～2014年5月 内閣官房 総合海洋政策本部 参与
- 2007年 4月～現在 国土交通省 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会 技術部会委員
(平成28年2月より部会長)
- 2011年 5月～2013年9月 内閣府 中央防災会議 専門委員
- 2011年12月～現在 国土交通省 社会資本整備審議会 河川分科会 委員
- 2015年 6月～現在 国土交通省 国立研究開発法人審議会 会長

(高知県関係)

- 2013年～2016年 高知県・国土交通省四国地方整備局 高知港における地震津波防護の対策会議 座長
- 2013年～2018年 国土交通省四国地方整備局 高知海岸保全技術検討委員会 委員
- 2013年～現在 高知県 高知県地震・津波防災技術検討委員会 アドバイザー
- 2018年～現在 国土交通省四国地方整備局 高知港海岸景観・利便性等検討会 座長
- 2018年～現在 国土交通省四国地方整備局 高知海岸保全フォローアップ委員会 委員長